

◆日本共産党は、大軍拡・大増税許さず、命と暮らしを守る政治実現に全力を尽くします

休日当番病・医院

7月16日(日)

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 苦小牧日病病院 矢代町 72-7000
- ◆歯科 松井デンタルクリニック 明野新町 57-8241

7月17日(月) <海の日>

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 とよた腎泌尿器科クリニック 元中野町 31-2000
- ◆歯科 松沢歯科クリニック 三光町 82-8205

診療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。本紙は毎週火曜日に編纂のため、その後に休日当番医が変更になってもお知らせすることはできません。ご利用される際には、あらかじめ電話でお確かめください。

法律相談



7月27日(木)
大和田貴史弁護士

(定員になり次第締め切ります)
日本共産党苦小牧地区委員会
苦小牧市見山町2-2-6 申込 56-5002

しんぶん赤旗読者のための
親身な相談で定評

日本共産党

民主苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

苦小牧市見山町2丁目2番6号 電話 56-5002 fax 56-5086
日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp>
苦小牧市議団ホームページ <http://toma-jcp.sakura.ne.jp/>
eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

原市議一般質問

マイナ一体化の強引な推進を批判

健康保険証廃止の中止を国に求めるべし



認ができたのが数件あり、健康保険証の提示による従来の方法で確認できたといっています。

原議員は「国の助成はあっても医療機関には、負担は大きい。小さな診療所で導入できていないところや、開院閉鎖」しなければならぬところもある。地域医療にとつて損失ではないか」とただしました。健康こども部長は、「医師会において地域の医療環境を整えるべく個別に対応されていると思うが、医師会を含め情報を共有し、状況を把握したい。費用負担で病院をやめるところは聞いていない」と答えました。

政府は来年秋にも、健康保険証を廃止してマイナンバーカードに一体化するとしていますが、強引な推進がトラブルと混乱を引き起こしています。先月の定例市議会でも日本共産党の原啓司議員は、医療、介護等への影響についてただし、一体化の中止を国に要請するよう主張しました。

マイナカード対応のシステム導入した市内医療機関は、内科と歯科で124機関、薬局が67機関の計191機関で、全体の約76%です。市内でのトラブルは把握されていませんが、市立病院では健康保険の資格確認

市民生活部長は、「何らかの事情でカードを取得していない方が、資格確認書の申請もしていない場合であっても加入している保険の資格がない」と答えました。

原議員は、「カードを持たない人には健康保険の資格確認書が交付されるが、申請しないともえない仕組みになっている。窓口負担が10割になる人が出てくる懸念がある欠陥の制度だ。保険診療が受けられなくなると言うことではないと言いつけるのか」と迫りました。



参加者が一言発言をしまし

と強く訴えました。

最賃引き上げて日本を元気に 苦小牧地区労連が宣伝

1500円以上今すぐ

今年の最賃改正に向けての議論が中央最低賃金審議会が始まったのを受けて苦小牧地区労連(横山傑議長)は2日、市役所前の国道沿いで、最賃を時給1500円以上に引き上げるよう訴えるスタンディング宣伝をしました。

前日までの雨が上がり、少しさわやかな日差しのもとに参加した19人が、手製の大型文字プラスター「全国一律最賃の引き上げで日本を元気にしよう」のぼり旗を掲げ、通行する市民や車に手を振りながらアピールしました。

横山議長は「物価だけがどういふ生活が苦しくなっていることを告発。郵政ユニオンからは、郵便局の現場では正規職員も過重な仕事で大変だが、非正規職員の待遇改善がまだまだ不十分なことを訴えました。



マイナカード強制になる健康保険証の廃止 見直せ
日本共産党

岸田政権の軍拡告発

美光九条の会の能勢公事務

（バイパス）交差点山手町側で、スタンディング宣伝を行いました。59回目。参加者らは12人に及ぶ横断幕「平和憲法を未来につなぐ」や「いいねー日本国憲法」「9条改憲NO!」のパネルを持ち、岸田政権の大軍拡・大増税を批判しました。

局長は、「岸田政権が決めた敵基地攻撃能力（反撃能力）の保有は、もはやアメリカ軍のもと自衛隊が全面的に戦争することにつながり、自衛でも防衛でもありません。反撃能力は、憲法の範囲で運用され、専守防衛の考え方を変更するものではないと強弁して

いるが、憲法9条に真つ向から違反するものです。絶対に認めることはできません」と訴えました。

苦小牧地区労連の斎藤秀夫事務局長は、「岸田首相はバイデン米大統領と会談した際

平和のつとめ

30
原爆・戦争を考える

新日本婦人の会と日本中国友好協会、治安維持法国賠同盟は共催して、今月30日に「2023年平和のつどい」を市民活動センターで開催します。入場無料。

ヒロシマ・ナガサキ原爆バ
ネルや広島の高校生が描いた
原爆の絵画などの展示を主体
に、オカリナ演奏や絵本の読
み聞かせ、紙芝居、しんぶん

に軍事費の2倍化を申し出、米軍とともにたたかうという態度だ。日本のとるべき態度は軍事一辺倒ではなく、平和外交などによる日本の独自の道を訴えていくことであり、武器を持って米国とともに戦争する道ではない。憲法9条にもとづく平和の道です」と強調しました。

市内2カ所で2018年から行っている月1回のスタンディング宣伝は、柳町での67回と合わせ126回、参加者はのべ1750人を超えています。

28日 **ジェンダー講座**
女性支援法を学ぶ
 日本共産党のジェンダー平等委員会が主催する「ジェンダー連続講座」が今月28日にオンライン配信されます。
 第8回となる今回は、婦人保護施設慈愛寮元施設長の細金和孩子さんを迎え、「婦人保護事業の現状と女性支援法」をテーマに講義します。
 女性支援法は今後、地方自治体での具体化、実践が求められるテーマであり、地方議員のみなさんやジェンダー問

ウボポイは、2020年

文化大切に

久しぶりの出会いの場になりました。アイヌ語を母語として守ってほしいとの要望をいただいた三石アイヌ協会の幌村司会長、08年衆参の国会決議をあげる際にお話をうかがった関東ウタリ会の丸子美記子会長、阿寒の木彫り作家秋辺日出男さん、白老に移住した古布絵作家の宇梶静枝さんの

せめて 脱んでほしいの!

日本共産党の
しん しゅん
赤旗

1997年10月10日

No. 497

▼7月28日(金) 10時〜12時
日本共産党苫小牧地区委員
会事務所 会議室
▼問合せ 小野寺幸恵さん

禍のもと、来館者が予定より少なく苦慮したもの、少しずつ増え繰り返し来館する人もいるとのこと。アイヌの歴史、文化を知り、「アイヌコロコタン」(互いに

ウポポイのPRRアンバサダーとして参加し、言葉を交わしました。アイヌ政策やウポポイの今後の課題を探究したいと思います。

式典が終わってから19

ちぎり絵体験も実施予定です。
午前には戦争体験者が語る

◆戦争はすべてを奪っていく
村山士郎・金田一清子・西

にしてほしいと思います。

上（8日）

推進法」を審議する際、宮本岳志衆院議員が意見をうかがった岡田路明白老アイヌ協会事務局長とパートナーの育子さんを訪ねまし

「戦争遺跡＝綱木トーチカ」
「満州での集団自決」、午後には戦争と平和について考える集いも行われます。

来場の際は、マスクの着用が必須です。

條昭男編著 (新日本出版社)
1760円(税込) ウクラ
イナ戦争や平和について、子
どもたちの心にどう映ってい
るのか。子どもの詩や作文か
ら平和を考えます。

た 育子さんはアイヌ民族の刺繍作家として活動されています。立野広志前洞爺湖町議と、運営されている刺繍サークル「フツチコラチ」（おばあさんのように）

▼7月30日(日) 10時〜15時 ★★
 苦小牧市民活動センタ―
 ▼連絡先 新日本婦人の会
 電話 84・1676

生業と暮らしを守るために
インボイス
実施中止を
日本共産党



ウボボイ記念

紙智子（かみ・ともこ）
日本共産党参議院議員）

「健康保険証廃止の中止を求め、マイナンバー取得の強制に反対します」署名にご協力を